

地域安全マップづくり 大学生ボランティア研修会 参加者募集

子どもたちの安全を守るために

「地域安全マップづくり」とは、子どもたちが自分の住んでいる地域でフィールドワークを行い、“入りやすく見えにくい”犯罪被害に遭いそうな危険な場所を探したり、“入りにくくて見えやすい”安全な場所を見つけることで、犯罪被害から自分の身を守る危険予測・回避能力を身につけてもらう活動です。

小学校で6人程度の小グループで行うため、担任の先生だけで行うのは難しく、指導者として参加してくれる大学生ボランティアの協力が必要です。

この研修会は、指導者としてのノウハウを習得してもらうために行うものです。

地域安全マップづくりの手順

① 事前学習



危険な場所が分かった人？

② フィールドワーク



③ 地域安全マップの作製



④ 発表



